

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

Version 3.0.17

バージョンアップ内容

○ DICOM 座標系、画像座標系、グラフィックス座標系によるファイル出力

等値面生成で、DICOM 座標系、画像座標系、グラフィックス座標系での出力が、STL、MGF、DXF、VRML、SMF、NPTS フォーマットで出力可能となりました。本機能により、実物と同じ大きさの造形が可能となりました（図 1）。

○ Mesh Editing 機能でのバグフィックス

等値面の座標データ出力に対して、Delete-Auto 時に生じていた出力座標値のズレを修正しました。

○ スクリーン画面内のボックスのワイヤフレーム非表示

スクリーン画面内のボックスのワイヤフレーム表示に対して、非表示可能となりました。

○ ISO-VOLUME 機能で補間した 3 次元画像に対するポリゴン出力座標のずれの解消

Iso-volume 機能で 3 次元画像を補間した際、等値面出力でポリゴン座標がずれる問題を修正しました。

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもご相談ください!

- ・画像処理フィルタの作成
- ・処理の自動化
- ・パラメータ設定
- ・プログラム開発

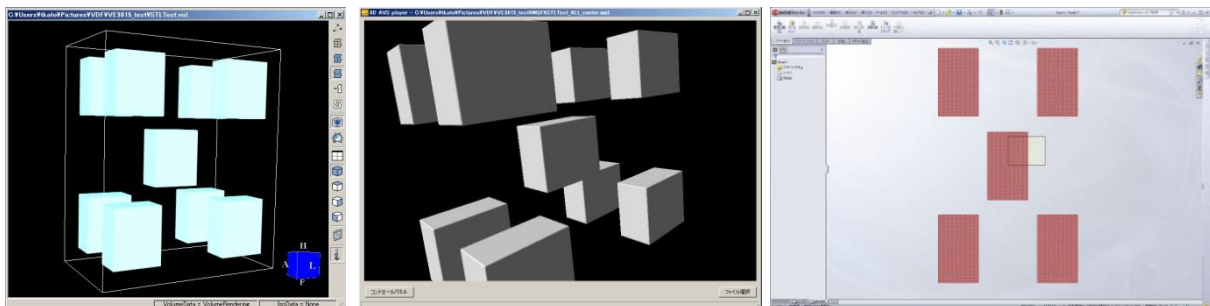


図 1 テスト用 3 次元画像（左、VE）、VRML 表示（中央、3D AVS Player）、DXF 表示（右、SolidWorks）